

出羽三山

奥参り

千四百年以上前に
蜂子皇子によって開かれた出羽三山は、
羽黒山・月山・湯殿山から成り
それぞれの祭神を祀っています。

月山、湯殿山は雪深い山頂や溪谷にあり、
通年の参拝や祭祀が困難なため、
羽黒山頂に三山の神々を合祀しました。
二四六段の石段と二つの急坂から成る
荘厳な杉並木は即ち神々に至る道なのです。

ミシュラン・グリーン・ガイド・ジャポン★★★



【花祭】

●7月15日

造花の梵天には大きな雲
駝があること、梵天を参拝
客が奪い合う様子は圧巻、桶
の開花期に際し、風雨の災厄
のなことを祈る。出羽三山
神社で最も重要な祭り。



【八朔祭】

●8月31日～9月1日

秋の峰入修行中、8月31日
夜、山伏たちが護摩壇に火を
放ち、夜空を焦がす勇壮な炎
の祭り。桶の結実期に際し、
成熟しようとする田面の災
害がないように祈る祭り。



【松例祭】

●12月31日～1月1日

大晦日に行われる羽黒山の代
表的な祭。松聖と呼ばれる2人の
山伏を中心に位上と先達方に
分け、験競べが行われる。一年の
災いを焼き払い、新しい清浄な火
を切り出し、福を招く火祭り。

出羽三山神社参拝のご案内 (年度によって若干の訂正があります。平成23年12月20日現在)

【羽黒山・出羽(いで)神社・三神合祭殿】

①参拝(参、山伏案内、団体折衝)

●予約(要)/電話0235-62-2356

●内容/羽黒山頂駐車場より、参拝の方全員に注
連(しめ)を首に掛けていただき、山伏が先達して
山頂各所を巡拝、三神合祭殿へ至り参拝、団体折衝
を受ける。

●所要時間/羽黒山頂着より出発まで約1時間

●初穂料(出羽三山歴史博物館入場無料、但開館時)

人数	料金	授与品	山伏案内
20名まで	16,000円	お札	有
21名以上	1名/800円	お札	有

②個人折衝●初穂料/1件3,000円より(折衝札に
願意、氏名を記入)

③太々神楽折衝

●予約(要)/電話0235-62-2356

●初穂料/50名まで一席200,000円(50名以上
1名4,000円)太々神楽所要時間約40分

④小神楽折衝

●予約(要)/電話0235-62-2356

●初穂料/30名まで一席90,000円(30名以上1
名3,000円)小神楽所要時間約30分

⑤出羽三山歴史博物館

●開館時間/午前8時30分～午後4時30分(入館
は午後4時まで)●毎週木曜日休館(7・8月除く)

●開館期間/4月下旬(4月中は除雪状況による)～
11月23日

	個人	20名以上	50名以上
大人	300円	250円	200円
高・大学生	200円	150円	100円
小・小学生	無料	無料	無料

⑥斎館

●予約(要)/電話0235-62-2357

①食事/精進料理1,575円、2,100円、2,625円、
3,150円以上(その他一品料理等、相談に応じます。
食事:朝食、昼食、夕食可)

【羽黒山精進料理・御本坊芭蕉膳】

雪の膳5,250円、月の膳7,350円、花の膳10,500
円(要予約1日50名限り)

②宿泊(定員105名)/1泊2食付7,350円より

【月山神社本宮】

●7月1日より9月15日頃まで

①開山期間

●7月1日より9月15日頃まで
②献料
●1名500円、月山神社本宮へ参拝なさるには、お
誠いを受けなければなりません。
電話090-8921-9151

③折衝

●1件3,000円より(折衝札に願意、氏名を記入)

④月山御田原参拝所

●月山8合目駐車場より徒歩10分

●予約(要)/電話090-2367-9037●開山期間/6
月20日頃より10月10日頃(6月中は除雪状況によ
る)●宿泊(定員35名)/1泊2食付7,350円より

●食事/1,575円より、但し、団体等相談に応じます。

【湯殿山神社本宮】

①開山期間

●4月29日より11月3日頃まで(積雪期は閉山)

②献料

●1名500円、湯殿山神社本宮へ参拝なさるには、お
誠いを受けなければなりません。
電話0235-54-6133

③折衝

●1件3,000円より(折衝札に願意、氏名を記入)

④護摩折衝

●内容/湯殿山参籠所の神前に於いて護摩をたき、折
衝を行う。●初穂料/一席(10名まで)30,000円、1名
増毎3,000円●所要時間/約1時間

⑤湯殿山参籠所

●予約(要)/電話0235-54-6131

●開山期間/4月29日より11月3日頃まで(積雪期は閉
山)

●宿泊(定員150名)/1泊2食付7,350円より

●食事/1,575円より、但し、団体等相談に応じます。

【交通案内】

羽黒山へ

【バスをご利用の場合】
鶴岡駅から庄内交通バス羽黒山頂行き
で50分、終点下車。表参道の石段を登
る場合は、同バスで羽黒センター下車。
【車をご利用の場合】
山形自動車道鶴岡ICから、鶴岡-羽黒線
経由で約13km。庄内あさひICから、約
15km。庄内空港から45分。

月山へ

【バスをご利用の場合】
鶴岡駅から庄内交通バス月山8合目行
きで1時間30分、終点下車(バス運行
については庄内交通にお問い合わせ下
さい)。徒歩2時間30分～3時間(頂上)

湯殿山へ

【車をご利用の場合】
●山形自動車道鶴岡ICから、鶴岡-羽
黒線～月山高原ライン経由で約28km。
庄内あさひICから、約30km。庄内空港
から2時間。
●山形自動車道湯殿山ICから、約12km。
山形自動車道月山ICから、約13km。庄内
空港から山形自動車道経由で1時間。
【バスをご利用の場合】
鶴岡駅から庄内交通バス湯殿山行きで
1時間30分、終点下車。

出羽三山神社社務所 Tel.0235-62-2355

〒997-0292 山形県鶴岡市羽黒町手向字向7 FAX.0235-62-2352

URL <http://www.dewasanzan.jp/>



【羽黒山山頂詳細図】

赤い鳥居をくぐると国
指定重要文化財の三神合
祭殿がある。萱葺木造建
物として日本では最大の
大きなを誇り、月山、羽黒
山、湯殿山の神々が祀られ
ている。度重なる火災にあ
り、現在の社殿は文政元年
の再建である。合祭殿前の
御手洗池は、羽黒神の影向
する池として鏡池と呼ば
れて、平安朝より鎌倉時代
の東側に建つ切妻造り萱
葺の鐘楼は、最上家信の寄
進によって元和四年に再
建されたものである。鐘は
建治元年の銘があり、古さ
と大きさは日本有数の重
要文化財に指定されてい



国指定重要文化財 羽黒山三神合祭殿

ミシュラン・グリーン・ガイド・ジャポン★★★



国指定重要文化財 鐘楼と建治の大鐘



高館で出される 精進料理(要予約)

ミシュラン・グリーン・ガイド・ジャポン★★★

出羽三山 奥参り

出羽三山は、祖先の霊魂が鎮まるお山、生
命の糧を司る山の神、海の神が鎮まるお山と
人々から信仰され、厳しい修行で有名な「羽
黒派古修験道」によって「撥死再生」をはたす
雲山、霊場として知られている。東三十三ヶ
国はもとより、皇室をはじめ、歴代の武將の
篤き崇敬により、その地位は確固たるものに
なった。太古の昔より現世に至るまで、親か
ら子へ、子から孫へと敬神崇祖の精神を伝えて
いる。男子十五歳になると「お山参り」お山
祈けをする風習が各地に残っている。特に
西のお伊勢さまに詣でることを「伊勢参宮」
と称して、重要な「人生儀礼」の一つとされ、
民衆の生活の中に今でも息づいている。月
山神社は天照大神の御弟神である月読神と
出羽神社は出羽国の国魂である伊弉波神と
稲倉魂神、湯殿山神社は大山祇命、大己貴命、
少彦命を祀っている。

歴史の薫る精霊の山

羽黒山

今から約一、四〇〇年前の
推古元年(五九三)、
第三十二代崇峻天皇の
皇子・蜂子皇子が
羽黒山を開かれたのが
出羽三山の始まりである。
羽黒山は三山の神々を
合祀するお山であると同時に
御開祖・蜂子皇子が創立された
「羽黒派古修験道」の
道場として今に伝える。

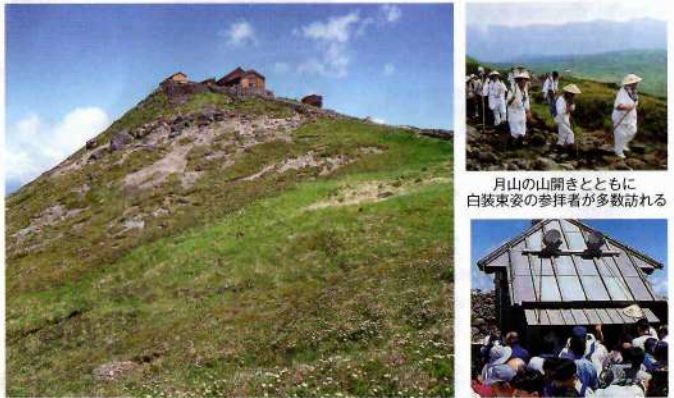


雪化粧した冬の随神門
羽黒山表参道石段 約1.7km
(随神門より山頂まで)
上り約50分
下り約40分



山頂に至る約2kmの参道は、樹齢三〇〇〜六〇〇年に及ぶ老杉が生い茂り、石段は全部で二、四四六段に及び、ミシラン・グリーンガイド・ジャポニックスに認定された。一の坂の登り口に五重塔が聳え立つ。素木造り、柿葺三間五層の均整のとれた優美な姿で、東北では最古の塔である。昭和四十一一年国宝に指定された。創建は平将門と伝えられ、その後幾度か修復され、現在の塔は室町前期の建造物である。南谷は三の坂の登り口から右折し三百メートル程の処にある。かつて芭蕉が奥の細道行脚の折に門人曾良と逗留した跡があり、「有難や雪を留をらす南谷」の句碑が建っている。三の坂を登りきった処に齋館がある。山内に今も残る唯一の院坊であり、往時の姿を偲ぶことができる。

夏の訪れとともに月山の山開きが行われ、白装束の参拝者の姿が見受けられるようになる。八合目の御田原から頂上にかけては高山植物の宝庫であり、ニッコウキスゲ、クラサントドリ、イワイチヨウヒナザクラなど、その数は一三〇種以上に上る。特に「いろは四十八沼」と呼ばれる池塘付近には、見事な群落が見られる。湿原の中に御田原神社があり、月山中之宮として祈禱・神札等を取扱い、御田原参籠所として宿泊・食事等を提供している。山頂に鎮座する月山神社本宮は延喜の制による名神大社で東北唯一の官幣大社であった。神階は従二位、古来朝廷をはじめ幅広く庶民の篤い崇敬を集めてきた。御祭神「月読命」は、月を象徴する神として、夜、海、魂や死後(命)の再生、蘇りの世界を司り、天下泰平、国土安穩、産業発展、五穀豊穡、大漁満足に霊験あらたかとされている。又、祖霊安鎮の山としても尊崇されている。



月山の山開きとともに白装束の参拝者が多数訪れる
毎年7月1日に行われる月山神社本宮開山祭



古来、出羽三山の奥宮とされ、修験道の霊地であり、「語るなかれ」「聞くなかれ」と戒められた清浄神秘の世界である。湯殿山は、月山南西山腹に連なるなだらかな稜線を持つ山で、湯殿山神社本宮は、清冽なる梵字川の流れのほとり幽玄なる峡谷中に鎮座している。



秋が深まるにつれ、紅葉に染まりはじめた湯殿山は、しばしば乳白色の濃い霧に包まれ、より神秘的な佇まいを見せてくれる。湯殿山神社本宮は、月山より南西に下ること約5km、清冽なる梵字川の流れるのほとり、幽玄の仙境にあり大山祇命、大己貴命、少彦名命の三神を祀っている。湯殿山神社本宮では、参拝に際し現在でも履物をぬぎ、裸足になり、お祓いを受けてからでなければお詣りは許されない、俗界とは切り離れた神域である。昔湯殿山の行人の修行は一期千日であった。想像を絶する苦行を続け、自らの穢れを祓い、他人の苦しみを代わって受けようとしたのである。湯殿山系の即身仏は荒行により体内の脂肪分をとり、入定後腐敗せず即身仏となるのが特徴である。そして、永く世の人々を救おうとしたのである。